



### TOMネットがセミナー

## 空き家を地域交流の場に

ニチコンは、蓄電システムと電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHV)関連の技術・実績をベースに、太陽電池とEV・PHVの電池や蓄電池をつなぐ次世代蓄電システム「トライブリッド蓄電システム」を開発した。

よく連携させ、さまざまな利用シーンに合わせて活用できるトータル蓄電システム。太陽電池で発電した電力を家庭で使ったり、蓄電したりするだけでなく、EVを走らせることにも活用できる。

太陽電池、蓄電池に加えてV2H(Vehicle to Home)システムの3つのパワコンを一つに集約すること

れにより、EVが不在の時に太陽電池からの電力を蓄電池に蓄えておき、EVが戻った時に蓄電池からEVに充電することでカーボンフリー走行ができる。

太陽電池、蓄電池に加えてV2H(Vehicle to Home)システムの3つのパワコンを一つに集約すること

テリジの変化に応じて、太陽電池の増設、蓄電池の追加接続などのシステムアップもできる。

国内の港湾工事では近年、iConstructionが導入され、3次元データを活用した施工の省力化や機械化が進んでいる。同社は、作業の自動化や安全性向上につながる。

を自動調整する「注水・ウインチ操作自動化システム」で構成。リアルタイム計測システムは、自動追尾トータルステーション、2軸傾斜計、ケーソンの全マスの水位計

まじつくりに関するNPO

法人のTOMネットは22日、札幌市内で空き家対策セミナーを開いた。会員間のリレートークでは、中央区内のビル空室を活用した地域交流スペース

## 課題は運営や管理方法

「サードプレイスSap poro」での社会実験などを紹介。少子高齢化や人口減少が加速する中、空き家は地域のコミュニケーション形成に重要な役割を果たすもの

さを引き出したり地域のニーズを的確に捉えれば、古い建物でも高い稼働率を確保できる」と話した。

ウェブによる不動産セレクトショップ「街のツカイカタ」を運営するアレックス(本社・札幌)の佐藤克俊氏は、サードプレイスSap poroの利用例を説明。7月以降、

運動や工作の教室で使われ、今後はSNSを活用した入室の管理システムで、個人でも気軽に立ち寄れる場所にしたい」と新たな展開を示した。

大建工業 安

空室を社会実験に提供しているアルファコート(本社・札幌)の樋口千恵専務は、自社が手掛ける商業ビルやマンションの空室対策を紹介。良

子育てに関するフリーペーパー「エミナ」を編集するアートピア(本社・札幌)の本田美穂子社長は「家事や育児

など時間の制限される母親にとって、家の近所に集まれる場所があるのは理想」と話す一方で、「空き家を活用したいコミュニティに入りた

大建工業 安

大建工業 安

大建工業 安